

稲光会報

第30巻 37号

平成19年2月1日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 北原 輝久
題字 滝口 宏

現役試合結果 インカレ優勝、準優勝の快挙☆ 坂野 ジュニアで日本代表だ!

現役、秋の陣
秋の陣の主役はなんと松木瞳(スポーツ3)でした。まず、11月11日のナショナルチーム最終選考会で決勝プールに残る活躍。直後のインカレ(22日、26日、京都)ではフルレ個人戦で決勝に進出したの森友紀(一文4)で、この時は森が上級生の貫禄を見せて初優勝。松木は準優勝に終わりました。しかし12月の全日本選手権(22日、25日、秋田)でベスト8入りをかけて再び森と対戦。この時は勝負にはやる森に対し冷静に対処して快勝。全日本初出場7位入賞という快挙を達成したのです。選考会から一試合ごとに強くなっていくの目に見えるよう、この秋最高の成長株でした。来年の活躍が楽しみです。

他では森のインカレ初制覇も快挙でしたし、最終選考会で吉澤千恵(教育4)が2位に入ると活躍を見せつけてくれました。ただし、例年のことながら団体戦での優勝が見られなかったのは残念。来年(課題を残しました。(監督 川名宏美)



インカレ初制覇の森(左)と成長株の松木(右)

- 関東学生選手権大会 (10月5日~20日、駒沢屋内球技場)
 - <団体戦>
 - 男子 フルレベスト8、エペ3位 サープルベスト16
 - 女子 フルレ4位 エペ3位 サープル2位
 - <個人戦>
 - 東 康明(スポーツ3) 男子サープル3位
 - 池内 祥(スポーツ2) 男子エペ 3位
 - 大澤 三洋(スポーツ1) 男子フルレ4位
 - 吉澤 千恵(教育4) 女子エペ 5位
 - 島田 夏子(スポーツ4) 女子サープル6位
 - 森 友紀(一文4) 女子フルレ5位
- 全日本学生選手権大会 (11月22日~26日、京都大山崎町体育館)
 - <団体戦>
 - 男子 フルレベスト16、エペベスト16、サープルベスト8
 - 女子 フルレ2位 エペ3位 サープル5位
 - <個人戦>
 - 森 友紀(一文4) 女子フルレ優勝
 - 松木 瞳(スポーツ3) 女子フルレ2位
 - 池内 祥(スポーツ2) 男子エペ 7位
 - 島田 夏子(スポーツ4) 女子サープル8位
- ナショナルチーム最終選考会 (11月11日、厚生年金スポーツセンター)
 - 吉澤 千恵(教育4) 女子フルレ2位
 - 松木 瞳(スポーツ3) 女子フルレ8位
- 第59回早慶定期戦 (12月17日、早大体育館)
 - 男子フルレ 早稲田 45-30 慶応
 - エペ 早稲田 28-27 慶応
 - サープル 早稲田 45-38 慶応 (早稲田12連続 通算41勝18敗)
- 全日本選手権大会 (12月22日~25日、秋田・合川町体育館)
 - 松木 瞳(スポーツ3) 女子フルレ7位
- JOC杯ジュニアオリンピックカップ (1月7日~10日、駒沢屋内球技場)
 - 坂野 友里(スポーツ1) 女子エペ 優勝 (ジュニア日本代表決定)
 - 北川 宗一郎(埼玉栄高) 男子フルレ3位 (ジュニア日本代表決定)
 - 寺本 明代(熊本・開進高) 女子フルレ3位 (ジュニア日本代表決定)
 - ※北川、寺本は今春入学予定

坂野、日本ジュニア代表入り

1月7日~10日に行なわれたJOC杯ジュニアオリンピックカップ、ジュニア女子エペの部で坂野友里(スポーツ1)が優勝。4月トルコ・ベレク市で開催される世界ジュニア選手権大会にジュニア日本代表として出場します。

また今春入学予定の北川宗一郎(埼玉栄高)はジュニア男子フルレで3位、寺本明代(熊本・開進高)もジュニア女子フルレで3位入賞。共に坂野と一緒に世界大会出場です。



武山佳恵会員 (ワセダクラブ)



坂野友里 (スポーツ1)

武山、アジア大会で銅メダル

ワセダクラブの武山佳恵会員が12月カタール・ドハ市で開催されたアジア大会に出場。女子エペ団体の一員として活躍、銅メダルを獲得した。日本フencing協会の「フencing写真集」サイトにもアジア大会の様子が掲載されています。ぜひご覧ください。



早慶OB戦で川名監督(右)が20年ぶりの試合。4-2で勝ちました。(相手は滝ヶ崎元監督)

5代目新部長就任

わが部の部長先生が交代します。現部長岩淵匡先生が今年3月に定年によりご退任。新部長は同じ教育学部の矢口徹也先生(51歳)で、初代滝口宏部長以来5代目となります。

岩淵先生が部長に就任された平成12年のわが部は男女フルレ、エペが入替戦で敗れ2部落ち。1部種目は女子エペのみという苦しい年でした。柳川明史、渡辺紀博、杉山文野、川口泰代、清原由佳の5人が新入部員として入学した年でもありません。現在は男女6種目全て1部という輝かしい成績。この間岩淵先生にも並々ならぬご苦労をおかけしたわけです。特にスポーツ推薦制度が導入された平成15年以来、大学当局と部員の間に立って、学業部活動の追跡調査報告書作成等の煩雑な任務をこなしていただきました。

大学側の規則で部長職は平成18年10月1日から現矢口部長と交代。早慶戦、納会等に矢口新部長に出席いただき、稲光会



定年で退任される岩淵匡部長

矢口徹也部長より
体育会の部長は初めての経験。具体的に何をしたいのか全く見えていないのが現状です。まずフencing競技を理解することと現役・OBの皆さんの顔と名前を一人でも多く憶えることから始めたいと考えています。どうぞよろしくお願います。



岩淵匡先生より
7年間という短い期間でしたが、部長として学生諸君やOB各氏との出逢いがあった貴重な体験ができました。部長職を無事務め上げられたのは皆さんの支えがあったからこそです。心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

早慶戦大会委員長として挨拶される矢口徹也部長 (右は慶大 久我俊二部長)

平成18年「稲光会の日」開催

平成18年10月1日「稲光会の日」が道場にて開催された。岩淵部長先生をはじめ、山形から2歳の坊やを連れて駆けつけてくれた岡村悦男、美子夫妻(11、12年)、久し振りの丹羽晃一(45年)等総勢62名が参加した。今回は趣向を替え、元NHKスポーツエグゼクティブアナウンサー(現在Jスカイスポーツ、wowに於いて野球、テニス、ゴルフ等担当)島村俊治氏(写真)が「スポーツ名勝負から勝者の条件」のタイトルで講演を行った。



オリンピックや昨春のW杯の時のエピソード、徴兵制の国の選手やフランスのテニス親子のハングリ精神は恵まれ過ぎていて日本人選手には忘れられていく何かがあるにありと今や話は現役役員に大変参考になった。また恒例のオークションは目標の20万円を達成し



た。出席された会員はもとより、品物を送った清水敏男(32年)、石黒幸治(33年)、田高武彦(33年)、近藤征一郎(37年)、早川真也(39年)、丸山公一(40年)、平野正宏(41年)、森北原勝彦(41年)、森居章(47年)会員の皆様、毎年誠にありがとうございます。紙面をお借りして御礼申し上げます。(写真)先輩諸氏に挨拶する現役)

暑気払い&幹事会 第3回麻雀の会

8月2日、暑気払い兼幹事会が金子名誉会長をはじめとして竹村会長、越茂樹(27年)、漆間秀唯(33年)会員等15名が出席し開催された。会場の「すずや新本店」は杉山文野(16年)会員の自家で自慢のトンかつ茶漬け等を食べながら「稲光会の日」の打合せや近況を語りあった。なかでも桑波田卓(10年)の「猿の研究」の話が皆興味深く聞き入っていた。

勉強会開催

8月21日植竹幹事長が夏季合宿援助金進呈とともに勉強会(①稲光会の現役役員への援助、②自分の夢をかなえよう)を行った(写真)。植竹幹事長が各部員の夢をかなえるにはどうしたら良いか、各人からレポートを提出してもらい、今までの会社、講習/講演会、本、野球、ゴルフ等での経験から、目標の設定/具体化/達成させるためには、練習、セルフコントロール、試合等メンタルな話を2時間行った。現役役員は居眠りせず、熱心に聞いていた。



新潟在住の丸田弘三(昭和24年卒)が1月24日、逝去されました。本会からは金子誠名誉会長が通夜、告別式に参列いたしました。

総会案内

平成19年度稲光会総会は4月7日(土)午後6時半から開催予定です。大隈会館で行われます。新旧部長交代セレモニーもあります。皆さん、是非ご出席ください。

試合の応援に行こう!

本会のモットーの1つは「現役の試合を応援に行こう」です!そこでリーグ戦の日程をお知らせします。最近の現役は勢いがあります。大いに若さをもらってください。
【2007年度リーグ戦】
5月1日(火)、2日(水)、8日(火)~11日(金)
※場所:全日程、駒沢屋内球技場にて

合宿へようこそ!

春合宿は3月18日(日)~25日(日)です。見学だけでも結構ですので、奮ってご参加下さい。
・場所:山中湖畔「ニュー福寿荘」(0555-65-8301)
・詳細については主務 松木瞳まで(090-5383-2113)

◆◆投稿記事を募集します◆◆

同期会、地域会を開催された等、イベント情報の掲載を募集しています。写真も一緒に投稿ください。次号分は2007年6月末までにご一報ください。
連絡先:植竹 清 幹事長 Tel&Fax:0466-25-5358
メール:k-uetake@mwa.biglobe.ne.jp

稲光会費は現役活動を強くサポートしています

WASEDA CLUB

ワセダクラブ 育成強化への取り組み

フエニングスクールは2004年4月開校から早4年目を迎えます。開始当初は生徒8名でしたが今では30人を超え、道場は活気に溢れています。試合にも積極的に出場、昨年11月の全国少年団体戦ではサーブル優勝、フルレ準優勝という成績を収めました。しかし週1回の練習では技術の習得に限りがあり、他スクール生に追いつくまでに至らないのが現状です。そこで4月から平日夜間コースを増設、一層の強化を図ることにしました。桑波田、出水、杉山、武山、西村の現コーチ陣に今春卒業の坂、森、島田諸会員が新たに加わります。今後もジュニア選手育成とフエニングの普及に取り組みます。ぜひ道場にて子供たちのエネルギーを感じてください。また会員皆様のご子弟の入学をお待ちしています。

私の趣味

笹沢 武弘 (昭和36年卒)



昨年65歳の定年を迎え、43年間のサラリーマン生活に終止符を打ちました。今後は考える前に、まず過去と区切りをつけようと、四国八十八箇所巡礼の旅に出ました。連日25~30キロを歩き続けることはかなり厳しいものがありました。お遍路ブームとやらでバスや車での手軽な巡礼行が主流ですが、私は頑として歩きに徹したのです。離れた田畑から老農婦に合掌されたり、金子、食べ物、飲み物等のお接待を受けたりと、歩き遍路ならではの貴重な体験を重ね、感銘しました。全行程千四百余キロを50日ほどの一人旅でしたが、悟りを開くには至りませんでした。しかし歩くたびに素晴らしさが忘れられず、次は熊野古道5ルート(中辺道、小辺道、大辺道、紀伊路、伊勢路)に挑戦しようと考え、目下ジム通いを初め山登り、ウォーキング等で体を鍛えている毎日です。

OBの近況報告欄



神野花栄(14年)といえば、学生時代はエベでインカレ2位の実績をあげるなど、運動神経抜群、容姿端麗、である。卒業後、02年度ミス日本「海の日」に選ばれモデル、リポーターとして活躍してきた。一方、書店の営業周り等も経験する中で、主婦たちの「稼ぐ力」や「やる気」「時間のやりくり」などを目的の当たりにして、自分の将来設計やビジネス感に大きく影響した。たいやき屋の従業員の中には主婦、個人事業主として独立を考えている人など様々。作業自体は難しくはないが、重労働かつ夏場の店内の暑さは身に堪えるという。従業員がサラリープラスαの魅力を感じてくれるような場で、自分の時間を上手くやりくりしながら働いてもらいたい。そういった「場づくり」「場の提供」を今現在やっているところなのである。元々海外の良いモノを買い付け、輸入する仕事を考えてきた。そんな折、「たいやき屋をやらなにか」

神野が「たいやき屋」経営について語る

www.warutaiyaki.com

という人との「出会い」があった。自分のやりたいこと、いいなあと思うことと、「ずれていない」と思い、すぐ行動に移した。そして、06年2月に芸芸大学に自分の店をオープンさせる。オープンして丸1年になるうとして今だからこそ、見えてきた課題、改善点がある。たいやき屋は「待ち」の商売。店を接客インシンと位置づけて、そこから広げていくことも模索中。自分の「今できること」を見据えて、実際に行動に移すフットワーク。地に足をつけていながら、実に身軽だ。店頭に立つこと、現場を大切にすることを大切にしながらも、たいやき屋として評判の店があれば、国内どこでも視察に出かける。良いモノを追求する姿勢は、もしかしたら「たいやき」にとどまらないのかもしれない。経営者として自分にしかできないことと従業員に任せることとの線引きをしっかりとつかないことと、語る横顔は、まさに若き経営者の顔だった。

